



SDGs × 防災減災 ネットワーキング

これまでの活動実績

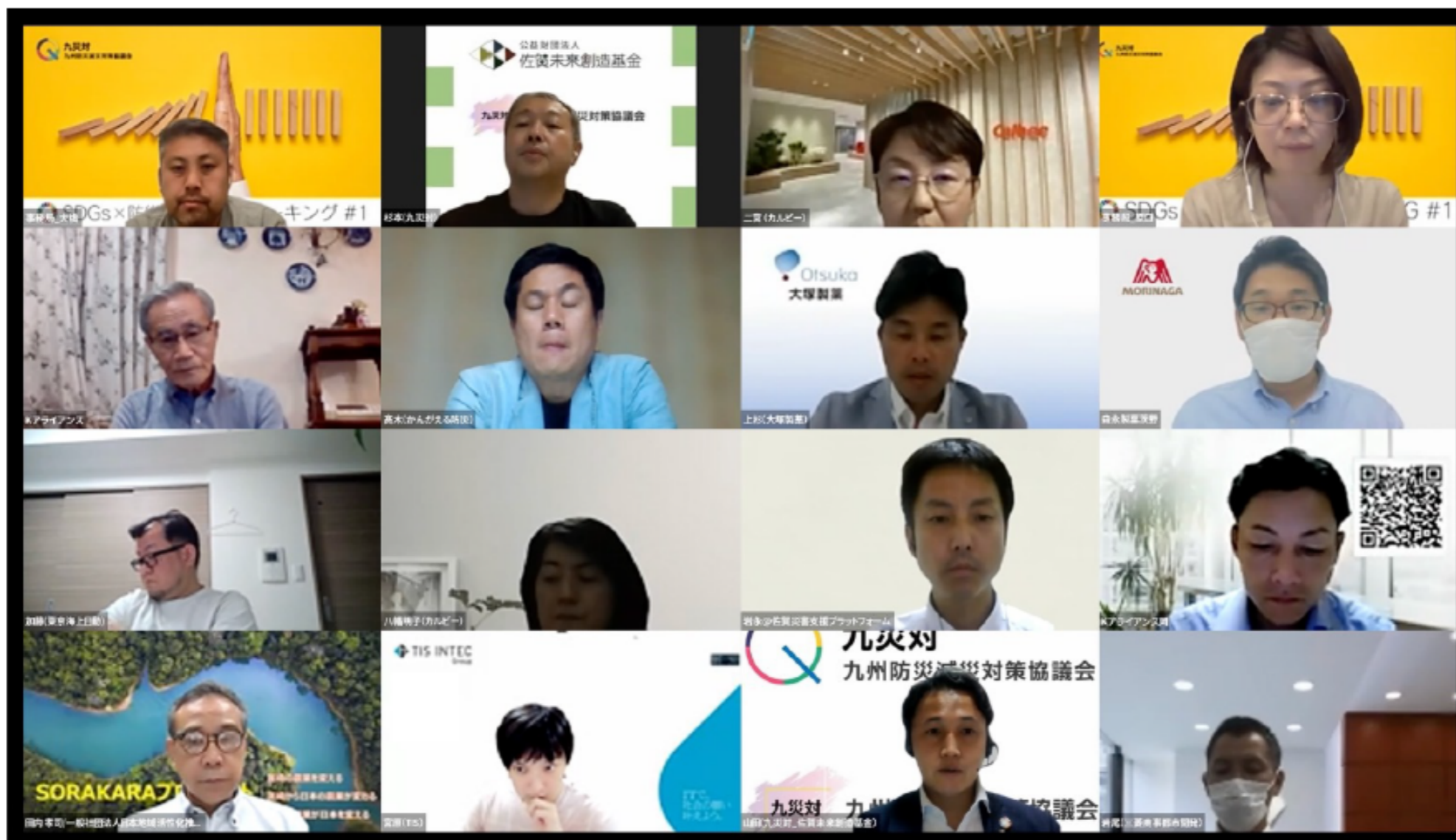
万が一の災害に備えるために、災害支援団体と災害支援に取り組む企業が知り合い、「九州の災害支援」＋「SDGsの推進」に取り組む「SDGs×防災減災ネットワーク」を開催。



対象者

- 九州エリアでの災害支援に関心のある企業
- 企業内でSDGs、CSRや防災などの取り組みに携わる方
- 災害支援を通じてSDGsの達成に貢献することに関心のある方

これまでの活動実績



2021年10月より毎月開催し、第9回を数え、延べ130名
(企業・団体合計50社) が参加しました。



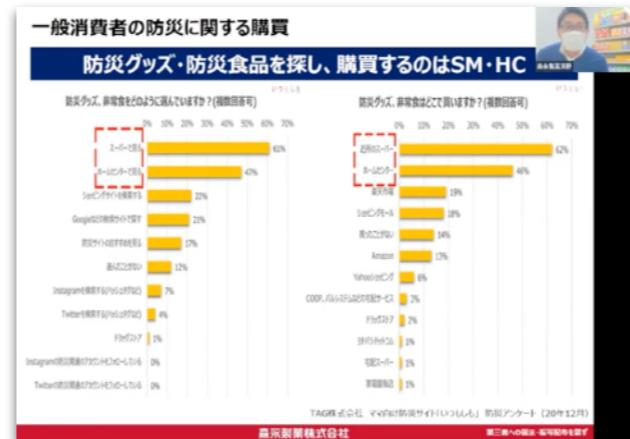
防災売り場作り常設 コンソーシアム

代表者

茨野 登 氏



森永製菓



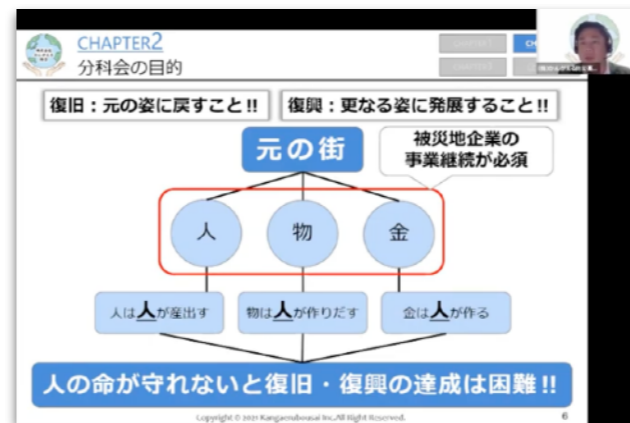
備え方を考える分科会

代表者

高木 敏行 氏



株式会社
かんがえる防災



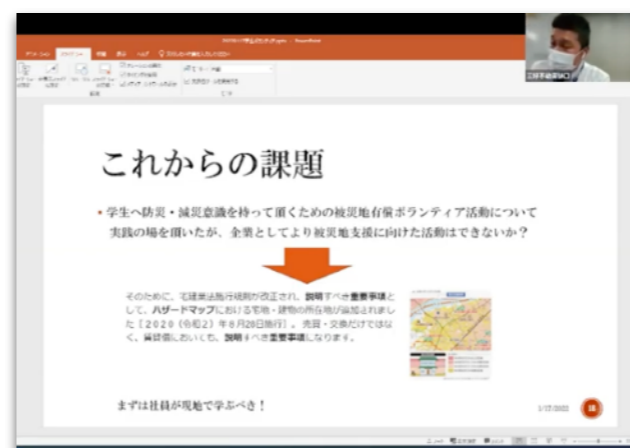
発災後のみなし仮設住宅 入居支援及び生活支援

代表者

樋口 朋晃 氏



三好不動産



SDGs × 防災減災 ネットワーキング#9

テーマ

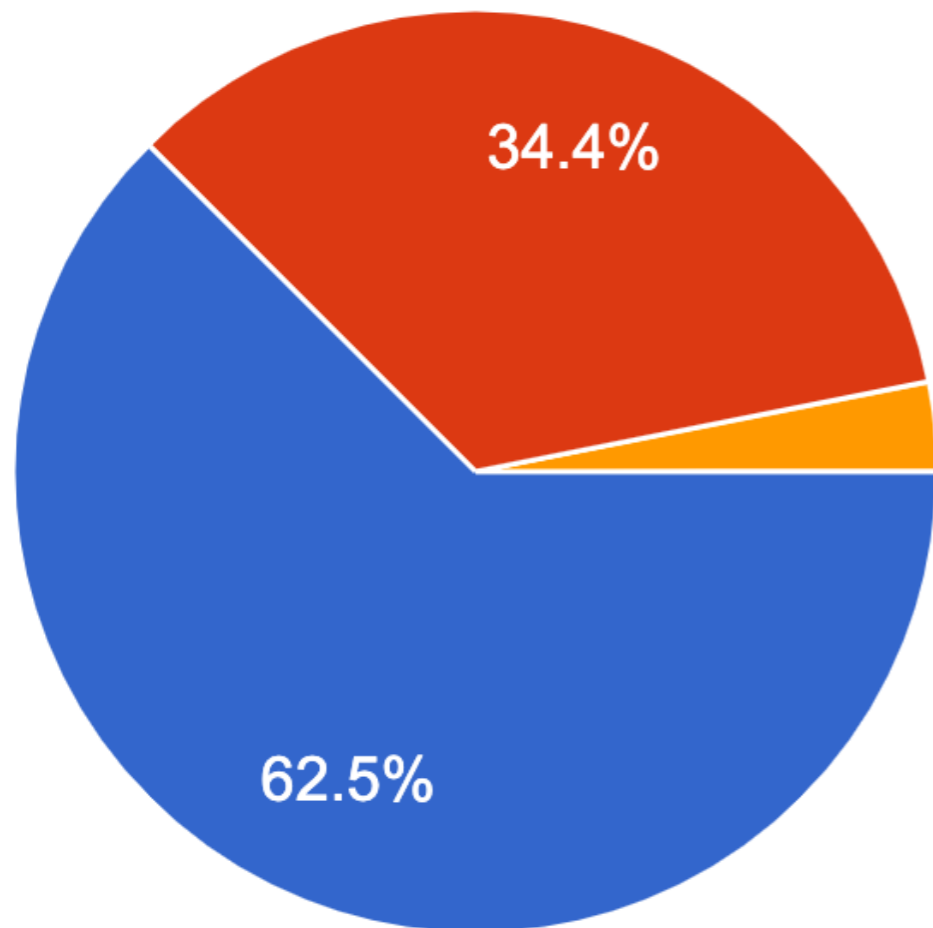
災害支援における平時からの顔が見える関係性の大切さ



九州防災災害支援コンソーシアム

のFacebookページにて公開中!!

登壇者の発表内容の満足度について教えてください。

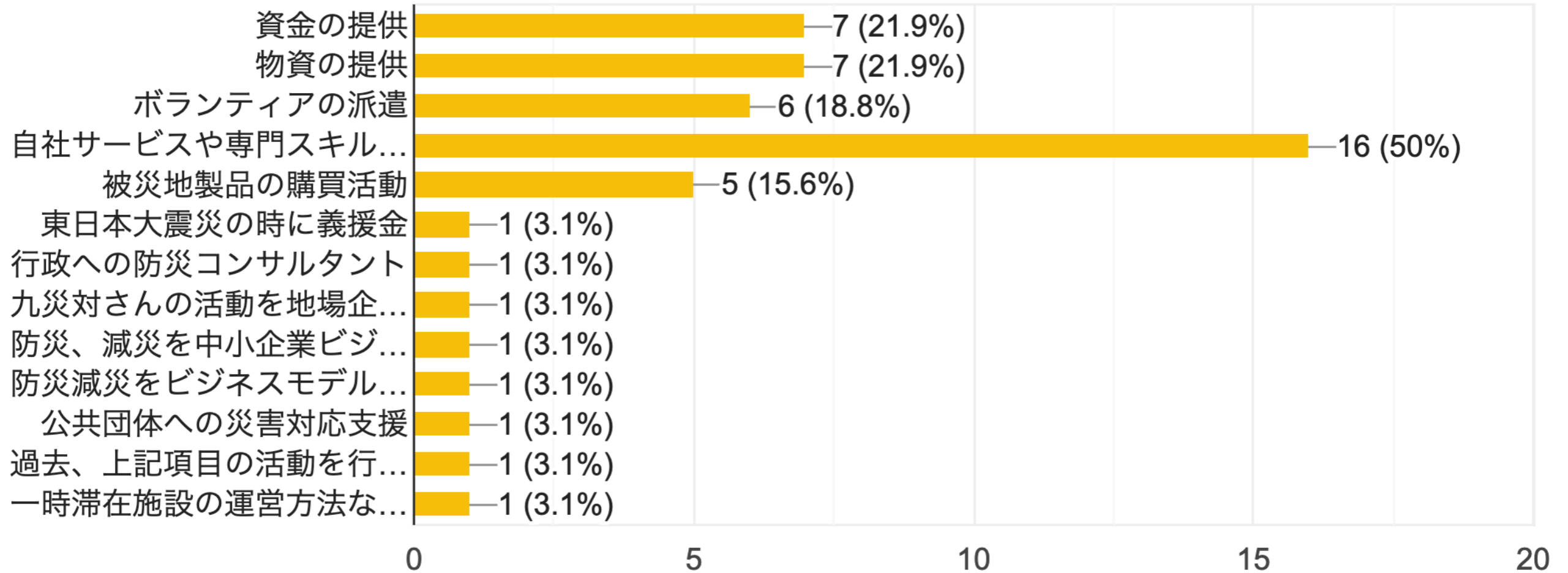


● 満足 ● やや満足 ● どちらでもない ● やや不満 ● 不満
参加者数 のべ38名 回答者数 32件

- 現場判断の重要性とそれを醸成する企業体質の必要性をご教示頂いたように思います。本業に取り入れるべき内容でした。
- 同じ食品を扱う企業様の取組をお伺い出来まして大変参考になりました。企業の社会的責任、SDGsが企業の末端まで浸透していると感じました。
- 企業間の連携が実際に有機的に作用している珍しい事例だと思います。

アンケート

どのような災害支援活動をしていますか。



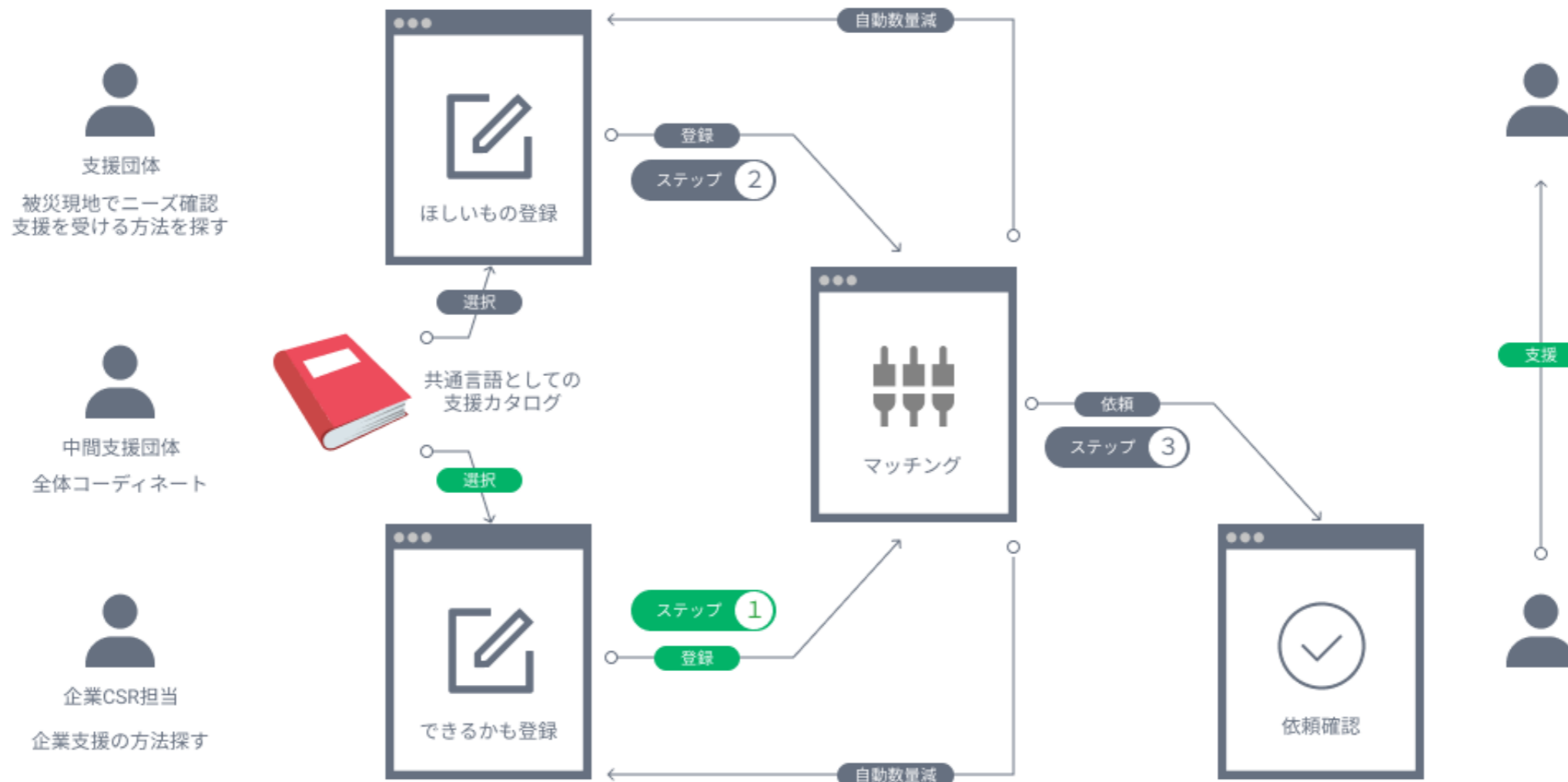
「自社サービスや専門スキルの提供」をしている企業、団体が多い

- 自治体の手が届かない所に対して抜け目ない支援をしていく為に、この様な団体様が存在する事を知れて良かった。
- 佐賀地区では、域内連携体制がとれていることが素晴らしい。
- 共助体制の仕組みなども含めて話題にあがっており、大変興味深い内容でした。
- すぐすぐ連携できることやお手伝いできることが思いつかなかったとしても、今後繋がるキーワードなどをたくさん頂いたように思った。



必要な人に 必要な支援を 必要な分だけ

Smart Supply Vision



「できるかもリスト」とは？ <https://smart-supply.org/catalog/drafts/seeds>

令和3年8月北部九州豪雨災害緊急支援募金

福岡県・佐賀県・長崎県を中心に発生した、北部九州の豪雨水害支援を行うための基金。被災された皆様が一日も早い復興を成し遂げられるよう、被災地支援をしています。



寄付金の用途

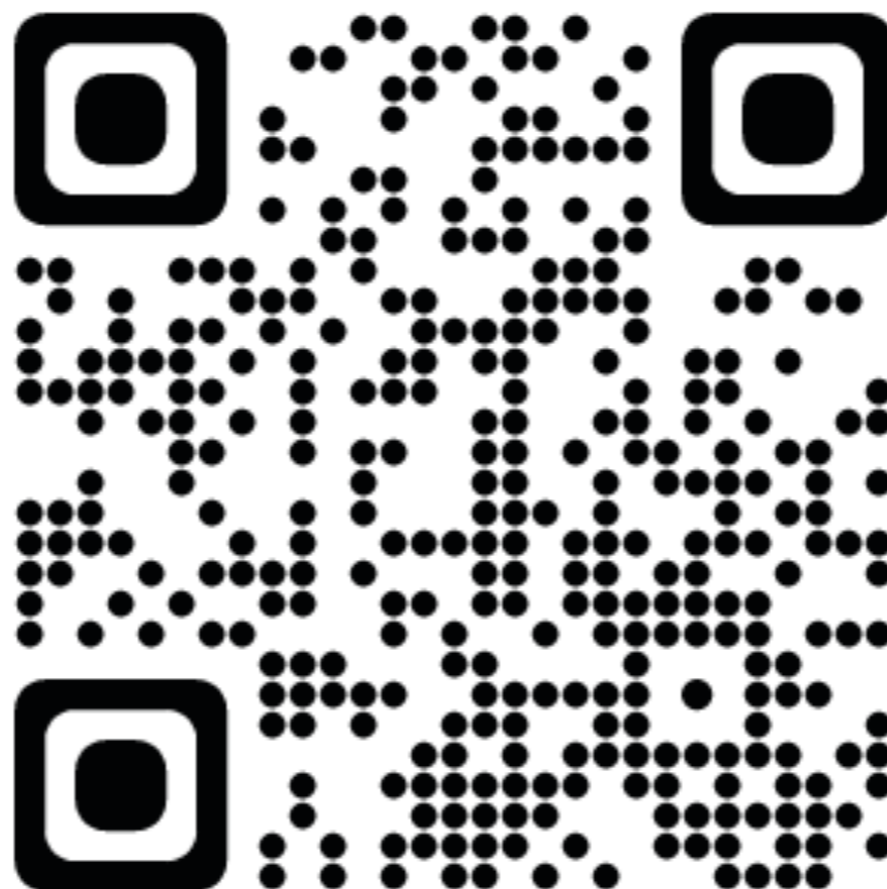
被災者への資金や物資等の直接支援、及び災害支援活動を実施する団体に対する活動経費に活用します。

「令和3年8月佐賀豪雨災害対策支援基金」寄付募集 <https://saga-mirai.jp/2021/08/16/fiscal-year-reiwa-saga-disaster-fund/>

問い合わせ



九州防災災害支援コンソーシアム



www.facebook.com/qbs.conso

担当者 杉本・大橋 info@qbss-c.com